

名護市で「郵便局等との懇談会」を開催 ～地域の「埋もれたお困りごと」の発掘と解決支援～

- ◆ 総務省では、令和 5 年 3 月 31 日に「郵便局を活用した地方活性化方策のとりまとめ」を公表し、全国津々浦々に約 24,000 の窓口拠点を有する郵便局の持つ強みをいかした地方活性化方策を推進することとしています。
- ◆ その方策の一つとして、総務省行政評価局では、『地域の「埋もれたお困りごと」の発掘と解決支援』を行うこととし、全国の管区行政評価（支）局、行政評価事務所、行政監視行政相談センターにおいて、地域のお困りごとを行政相談に繋ぐために、郵便局、市町村、地域のキーパーソン、行政相談委員等が参加する懇談会等を開催し、対応が難しい地域の行政課題について関係者で認識を共有し、課題解決に向けて「協働」することとしています。
- ◆ 総務省沖縄行政評価事務所では、令和 5 年度から地域の「お困りごと」の解決を図るため懇談会を開催しており、5 年度は南城市、6 年度はうるま市、そして、今年度は名護市において、同市内の 2 つの郵便局、区長、名護市、名護市社会福祉協議会及び行政相談委員が参加して、地域の「お困りごと」の解決を図るため懇談会を開催します。

【日 時】 令和 7 年 11 月 10 日（月）14:00～16:00

【場 所】 名護市役所別棟 3 階第一・第二会議室

【参加機関等】 名護郵便局長、名護宇茂佐郵便局長、為又区長、中山区長、名護市、名護市社会福祉協議会、行政相談委員、沖縄行政評価事務所

【内 容】

- 沖縄行政評価事務所長挨拶
- 地域の課題等に対する意見交換

※ 懇談会冒頭、挨拶については取材可。結果については懇談会終了後、取材に応じます。



照会先：沖縄行政評価事務所行政相談課
行政相談課長 武一
委員係 神里
電 話：098-866-0148

過去の懇談会における主な意見・要望

【令和5年度】（開催地：南城市）

- ラジオの電波受信が困難な地域があり、当該地域では、地震等の災害時に、ラジオからの情報入手が困難な状態である。（郵便局）
- 市社会福祉協議会では、ボランティアによる高齢者の買い物支援を行っているが、ボランティアが集まらないことが課題である。（市社会福祉協議会）
- 郵便局来局者には、相続問題をどこに相談すれば良いか分からないという高齢者が多いので、相続関係の相談窓口について郵便局にも情報提供してほしい。（郵便局）

【令和6年度】（開催地：うるま市）

- 1年以上前、道路整備工事のため市内の道路上のカーブミラーが取り外されたが、工事終了後なかなか元に戻してくれないので早く戻してほしい。（自治会長）
- 地域に123基ある防犯灯は、LEDで約10年が経過して交換時期だが、維持管理費が不足して交換できずに困っている。（自治会長）
- 県道沿いの街路樹は植えてから30～40年経過して大きくなり過ぎている。このため、歩道にひび割れができており、つまずく人も多く、散歩中の高齢者が転倒する事例も発生しており、早急な対策が必要である。（自治会長）

⇒両年度とも、上記課題について、参加者で意見を交換し、認識を共有



令和6年度に開催した
うるま市での懇談会の様子

